

施策評価シート(令和5年度実施施策)

総合計画 体系	政策No.	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり	施策主管課	生涯学習課
	施策No.	5-2	施策名	生涯学習の充実	施策主管 課長名	小林 隆浩
関係課	生涯学習課					

1. 施策の目的

対象	A 地域	意図	A 町民が生涯学習に参加する機会を継続して提供している
	B 町民		B 日頃から自主的学習に取り組んでいる

2. 成果指標

指標名	単位	現状値	上段：目標値		下段：実績値	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
① A 生涯学習講座に参加している町民の割合（増加）（現状値：H30時点）	%	37.7	37.8	37.8	37.9	37.9
			26.7	32.6	34.6	38
② B 目標を持って学習を行っている町民の割合（増加）（現状値：H28-30平均）	%	40.0	39	39.5	41	41.5
			30.4	30.1	34.1	42
③						
④						

3. 指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

①	公民館や生涯学習センター、放課後子ども教室において感染症対策を踏まえながら、参加者のニーズに沿って継続的に講座や講演会を実施したことが、目標値は下回ったが昨年度と比較して2.0ポイントの増加につながったと考えられる。
②	新型コロナウィルス感染症の5類移行と感染症対策により、学習への意欲の低下が回復傾向となり、講演会や講座等に参加したい方が参加できる状況になってきたことが、目標値は下回ったが、昨年度と比較して4.0ポイントの増加につながったと考えられる。
③	
④	

4. 課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

・地域学校協働本部事業では、地域学校協働活動推進員を増員するとともに学校の応援団を拡充し、各小中学校からの要望に応じた地域人材の協力を得て、学習支援、放課後子ども教室活動事業、中学校の部活動の地域移行を見据えた部活動の指導体制の充実に取り組んだ。 ・町民の学習機会の充実を図るため、学習ニーズに対応した学習会を取り入れることにより参加者の学習意欲の向上に繋げた。 ・本郷生涯学習センターの改修工事の完了により、新たな生涯学習の場として学習意欲の向上に繋がる環境の整備を図ることができた。

5. 次年度の方向性（施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題）

地域学校協働本部事業は学校と地域の連携を密にして、中学校部活動の地域移行を見据えた部活動支援の更なる充実に取り組むとともに、学習支援や放課後子ども教室の拡充に努める。 少子高齢化が進む中で、より多くの方が生涯学習の場に参加していただけるよう、ニーズにマッチした学習内容の充実と丁寧な情報発信により参加者の増加につなげる。

6. 施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和5年度決算額 (千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	4439	公民館活動事業	1,759	拡充	現状維持	②生産性改善	○
2	5260	生涯学習センター活動事業	5,809	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
3	5271	生涯学習振興事業	724	拡充	現状維持	②生産性改善	
4	5287	生涯学習運営事業	1,059	拡充	現状維持	②生産性改善	
5	15575	図書館管理運営事業	11,073	現状維持	縮小	③効率性改善	
6	15771	生涯学習センター施設管理事業	408,413	現状維持	縮小	③効率性改善	
7	15851	複合文化施設運営管理事業	5,352	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
8	17686	地域学校協働本部事業	7,580	拡充	現状維持	②生産性改善	○